

あべっこだより ～この町がすき、日々の遊びが運動会へ～

4月から毎日のように河原に出掛けています。でこぼこの石の河原を歩きながらバランス感覚を身に付け、流木や石を運び腕力もつき、1人では運べないものを友達と一緒に力を合わせて運ぶなど子ども達に育っている力を保育教諭が、見極めながら運動会の競技の内容を検討していました。



また、運動会で必要な地域の資源（石や流木、川砂など）は、河原遊びの帰りに子ども達にも手伝ってもらいながら園庭に少しずつ運び準備を始めていきました。今までの遊びの経験をそのまま運動会に取り入れたい、自分たちで調達した地域資源を活かす運動会にしたい…という思いが溢れています。10月3日の運動会当日は、安倍口中央こども園でしか出来ない運動会となり、保護者も一緒になって子どもの育ちと自園の良さを共有しました。

～その後も続く河原での遊び～



運動会の前も後でも河原の遊びは続きます。この場所ですっと遊んできた職員が「小さい頃に遊んだ遊び」を教えてくださいました。

- ① 木と木を3本合わせて土台を作る
- ② ススキを壁にする
- ③ 草はひもになる

河原に生息するススキは無限！ススキの他にも枯れ草を見つけ壁の代わりにしていました。

自然物がいっぱい！
どんぐりは勿論、木の実はいっぱい！たこ焼き器に入れると小枝でくるっくるっと裏返し～美味しいたこ焼きの出来上がりです。



♪森の音楽会♪
持ち帰った流木で作ったマイク！
廃材でギターを作り、林の中のステージで音楽会が繰り広げられます

